’99　ジムカーナグランプリ　第７戦

九州 GP　開催レポート

今、人気のモータースポーツ・ジムカーナで、全国各地を転戦しながらポイントを争う『 ジムカーナグランプリ 』が、去る 9月２６日に福岡県で開催されました。

このGRA企画のイベントは、全国を転戦しながらシリーズポイントを競うジムカーナの大会です。全国でジムカーナの楽しさを広め、参加者同志の交流を深められる事から、とても人気のあるシリーズ戦です。
今回の『九州GP』は、開幕戦の沖縄GPから愛知GP、香川GP、北海道GP、広島GP、長野GPに続く、シリーズ第７戦目で、台風１８号による被害が九州各地で発生したにも拘わらず、地元九州を始めとする全国から数多くの参加者が集まり、大変に盛りあがったイベントになりました。

ジムカーナとは、コースを１台づつスタートしてゴール迄走りきり、その間のタイムで順位を競うスポーツですが、そのコースは大会毎に工夫をこらした新しいコースが採用され、２度と同じコースは使用されないのが大きな特徴です。その為、コースレイアウトによっては、普段からの練習量や経験が豊富な者が更に有利になります。つまり、度胸や根性だけではうまく走れないのがジムカーナなのです。
今回の『九州GP』では、河川敷コースという細長いレイアウトの関係もあって、７０本以上のパイロンを使ったスラロームコースでした。この様なコースの場合は、バンク角が深いレプリカ系のバイクやエンジン出力の大きな大排気量車が絶対的な有利とはならず、主にテクニックの差がそのままタイムの差となって出てきたのです。
タイムトライアルが始まれば、日頃の練習量やテクニックにふさわしい顔ぶれが上位のタイムを叩きだしました。中でも、X４という参加者中最大排気量で大柄な車体という不利な条件なのに、クラス上位に入る走りを見せた静岡からの遠征者もいて、多いに盛り上がったのです。やはり、バイクではなく、腕で勝負が出来るのがジムカーナの魅力なのです。

ジムカーナグランプリは、必要以上の車両改造を制限してあり、誰でもがノーマルの車両で気軽に参加して、一緒になって楽しめるイベントです。１１月には最終戦・京都GPが開催されます。君も参加してみよう！ スポット参加も可能だ。

「九州ＧＰ　各クラス別入賞者」

Ａクラス	１位	徳永_圭一	ＮＳＲ250Ｒ	1’43″913
	２位	行武_邦浩	ライブDio ZX	1’48″331
	３位	中西_信明	RGV γ250SP	1’52″112
Ｂクラス	１位	村田_豊	ＮＺ 250	1’55″756
	２位	船越_美千仁	ＴＤＲ80	1’58″628
	３位	吉次_昌則	CBR400RR	2’06″130
Ｃクラス	１位	二宮_譲	スパーダ250	1’48″028
	２位	石亀_浩泰	Ｘ４	1’50″478
	３位	中村_武信	ＮＳＲ250ＲＳＥ	1’51″317
Ｄクラス	１位	大橋_隆夫	ブロスＰ１	1’39″439
	２位	一木_洋	ホーネット600	1’40″788
	３位	山本_義隆	ゼファー750	1’41″826
Ｅクラス	１位	小林_裕之	ブロスＰ１	1’34″692
	２位	小林_宏樹	ＣＢ－１	1’35″960
	３位	吉岡_輝顕	ＫＳＲ２	1’37″817

ジムカーナ文化を創造する
GRA Gymkhana Riders Association